

令和6年度第4回シネマエデュケーション 「オレンジ・ランプ」のご報告

11月9日(土)に、大井町生涯学習センターホールで、「第4回シネマエデュケーション」を開催しました。

今回は、「介護の日イベント」と同時開催で、「オレンジ・ランプ」を上映しました。

本作は、39歳で認知症と診断されながら、10年後の現在も会社勤務を続けつつ、認知症の本人のための相談窓口の活動や自身の経験を語る講演などを実施している丹野智文さんの実話をベースにした希望と再生の物語です。

ご参加くださった皆さま、ありがとうございました。



〈ご参加いただいた方の感想〉

- ・とても良かった。夜勤入り前でも来て良かったと思った。認知症との付き合い方の参考になった。
- ・家族が認知症のため映画を観ました。寄り添っていきたいと思います。
- ・若年性認知症について地域みんなの理解が必要だと強く感じた。
- ・映画観賞中、何度も涙しました。「お前が忘れても俺が覚えているから」と、幼馴染の友人の言葉。久しぶりに「思いやる心」の大切さを思い出しました。認知症になっても人生が終わるわけでもない。思いやりのある社会にしていきたいです。

シネマエデュケーションは、「自分や、自分の大切な人の生きること、良い最期を迎えることを考える機会にさせていただく映画上映会です。